

# 広げよう イクボス・ファミボス

## 従業員のニーズ把握

若い人が働き始めると、会社生活は新鮮で、いろいろなことに挑戦したいという思いが強い。しかし、入社してしばらく経つと、会社生活の厳しさや、上司からのプレッシャー、同僚との関係、仕事内容の単調さなど、さまざまな課題が出てくる。この課題を解決するために、会社側が従業員のニーズを把握し、対応することが重要である。

### 流通

江原剛社長、倉吉市、従業員数105人



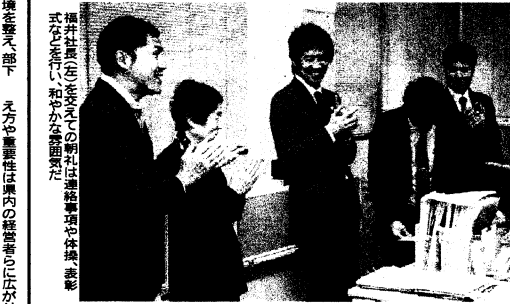
流通業界は、人手不足が深刻化している。特に、若年層の離職率が高い。これは、仕事内容の単調さや、上司からのプレッシャー、同僚との関係など、さまざまな課題があるためである。この課題を解決するために、会社側が従業員のニーズを把握し、対応することが重要である。

## 相談できる風土醸成

若い人が働き始めると、会社生活は新鮮で、いろいろなことに挑戦したいという思いが強い。しかし、入社してしばらく経つと、会社生活の厳しさや、上司からのプレッシャー、同僚との関係など、さまざまな課題が出てくる。この課題を解決するために、会社側が従業員のニーズを把握し、対応することが重要である。

### 福井事務機

福井孝幸社長、米子市、従業員数16人



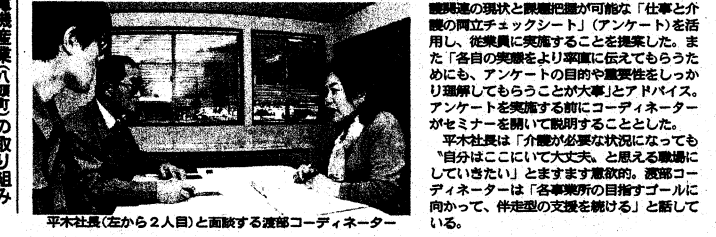
福井事務機は、米子市に本社を置く、事務機器の販売・サービスを行う会社である。従業員数は16人、社長は福井孝幸氏。同社は、従業員のニーズを把握し、対応することを重視している。

若い人が働き始めると、会社生活は新鮮で、いろいろなことに挑戦したいという思いが強い。しかし、入社してしばらく経つと、会社生活の厳しさや、上司からのプレッシャー、同僚との関係など、さまざまな課題が出てくる。この課題を解決するために、会社側が従業員のニーズを把握し、対応することが重要である。

### 進む「介護等支援コーディネーター派遣」の活用

鳥取県は「ファミボス実践事業」の一つとして、希望する事業所に、地域福祉や産業保健・精神保健などの専門家である「介護等支援コーディネーター」を派遣。従業員の介護状況や将来の介護リスクを事業所とともに把握して分析し、身近な問題である介護の備えに生かしていくほか、介護に関する情報提供や支援策の助産、個別相談に応じるとともに、福利厚生、就業条件の見直しなど労務管理上のアドバイスを提供している。

### 身近な問題、面談し協議



平水社長(左から2人目)と面談する産部コーディネーター

産部の現状と課題把握が可能な「仕事と介護の両立チェックシート」(アンケート)を活用し、従業員に実施することを提案した。また「各自の実態をより正確に伝えるためにも、アンケートの目的や重要性をしっかりと理解してもらうことが大事」とアドバイス。アンケートを実施する前にコーディネーターがセミナーを開いて説明することとした。

## 求められること

企業において仕事と介護の両立を推進するには、介護の時間経過で会社が負担が増えることは避けられず、心配が広がっています。この状況を打開するには、まずは介護の現状を把握し、課題を特定する必要があります。そのためには、従業員と面談し、協議することが重要です。

仕事と介護の両立を推進するには、介護の時間経過で会社が負担が増えることは避けられず、心配が広がっています。この状況を打開するには、まずは介護の現状を把握し、課題を特定する必要があります。そのためには、従業員と面談し、協議することが重要です。

## いま企業に

ファミボスになろう！  
仕事と介護の両立に向け、  
いま企業に

和氣 美枝 氏  
株式会社 ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役  
一般社団法人介護福祉防止対策推進機構 代表理事